【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2001-43993(P2001-43993A)
【公開日】平成13年2月16日(2001.2.16)
【出願番号】特願平11-217356
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｇ　1/34　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　6/03　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｇ　1/34　Ａ
Ａ６１Ｂ　6/03　３３０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月26日(2006.7.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】 透過Ｘ線による撮像対象のプロジェクションの面積および前記撮像対象の断面を楕円と仮定したときの長径と短径との比に基づいてＸ線管の管電流を調節する管電流調節方法であって、
前記長径および前記短径のいずれか一方に平行な方向において前記撮像対象をＸ線で透視したプロジェクションの面積を求め、
前記長径または前記短径の長さを前記プロジェクションに基づいて確定し、
前記確定した径に垂直な径の長さを前記求めたプロジェクションの面積および前記確定した径の長さを用いて計算する、
ことを特徴とする管電流調節方法。
【請求項２】 透過Ｘ線による撮像対象のプロジェクションの面積および前記撮像対象の断面を楕円と仮定したときの長径と短径との比に基づいてＸ線管の管電流を調節する管電流調節装置であって、
前記長径および前記短径のいずれか一方に平行な方向において前記撮像対象をＸ線で透視したプロジェクションの面積を求める面積計算手段と、
前記長径または前記短径の長さを前記プロジェクションに基づいて確定する径確定手段と、
前記確定した径に垂直な径の長さを前記求めたプロジェクションの面積および前記確定した径の長さを用いて計算する径計算手段と、
を具備することを特徴とする管電流調節装置。
【請求項３】 前記径確定手段は、前記長径または前記短径の長さを前記プロジェクションの中央部の値に基づいて確定していることを特徴とする請求項２に記載の管電流調節装置。
【請求項４】 Ｘ線管を含むＸ線照射手段と、前記Ｘ線管の管電流を調節する管電流調節手段と、Ｘ線検出手段と、前記Ｘ線検出手段で検出した複数ビューのＸ線検出信号に基づいて断層像を生成する断層像生成手段とを備えたＸ線ＣＴ装置であって、
前記管電流調節手段として請求項２又は３に記載の管電流調節装置を用いることを特徴とするＸ線ＣＴ装置。